

平成 22 年 10 月 28 日

大阪府知事 橋下 徹 様

(住 所) 堺市堺区南安井町1丁1番1号

(名 称) 市立堺病院

(代表者) 堺市長 竹山 修身

印

大阪府がん診療拠点病院の現況報告書の提出について

標記について、「大阪府がん診療拠点病院設置要綱」に基づき、別添関係書類を添えて、現況報告書を提出します。

<指定申請:提出資料一覧>

病院名

市立堺病院

			頁
【大阪府がん診療拠点病院 新規指定(様式)】			
様式1	(指定)	連絡先	1
様式2	(指定)	病院概要	2
様式3	(指定)	大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について	11
【添付資料】			
資料番号	様式	内 容	
別紙1	(指定)	保有する放射線診療機器等の一覧	16
別紙2	(指定)	高度医療への対応状況(がんに関するもの)	18
別紙3	(指定)	放射線療法を連携する医療機関	19
別紙4	(指定)	診療機能(専門分野等)	20
別紙5	(指定)	院内クリティカルパス	32
別紙6	(指定)	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	34
別紙7	(指定)	外来化学療法室に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性	35
別紙8	(指定)	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	38
別紙9	(指定)	緩和ケアチームの組織・体制	39
別紙10	(指定)	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順	40
別紙11	(指定)	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制	41
別紙12	(指定)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼症例	42
別紙13	(指定)	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績	45
別紙14	(指定)	緩和ケアに関する広報	48
別紙15	(指定)	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性	49
別紙16	(指定)	病理診断について協力を得られる医療機関	50
別紙17	(指定)	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	51
別紙18	(指定)	地域の医療機関への診療支援や病連携・病診連携の体制	52
別紙19	(指定)	地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況	58
別紙20	(指定)	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制	59
別紙21	(指定)	セカンドオピニオンに関する情報提供	64
別紙22	(指定)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況	65
別紙23	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況	66
別紙24	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況	67
別紙25	(指定)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況	68
別紙26	(指定)	相談支援窓口の相談対応状況	69
別紙27	(指定)	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況	70
別紙28	(指定)	がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口	71
別紙29	(指定)	院内がん登録の登録実施項目	76
別紙30	(指定)	患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況	77
別紙31	(指定)	府民へのメッセージ	78

大阪府がん診療拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書
 平成22年9月1日時点について記載

1. 新規・更新の別	(1) 新規指定	(2) 指定更新[指定年月日:平成 年 月 日]	(3) 現況報告
------------	----------	--------------------------	----------

※該当する項目を□で囲むこと。

2. 病院概要

(1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)	#REF!	
(2)所在地等		
郵便番号	590-0064	
住所	堺市堺区南安井町1丁目1番1号	
電話番号(代表)	072-221-1700	
FAX番号(代表)	072-225-3303	
e-mail(代表)	bvousou@city.sakai.lg.jp	
HPアドレス	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/	
所属2次医療圏	堺市2次医療圏	
(3)開設		
①開設者	堺市長	
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	平成8年10月1日	
(4)アクセス情報		
①鉄道	南海高野線 堺東駅から 徒歩20分	
②バス	南海バス 市立堺病院前バス停から 徒歩0分	
③高速道路の最寄りインターチェンジ	阪神高速道路 15号堺線 堺出口から 5分	
④駐車場		210台
(5)面積		
①土地	14,096.05	m ²
②建物	43,286.60	m ²
(6)診療時間		
①外来診療受付時間	(一般外来)月曜～金曜 8時30分～11時 (救急外来)全日24時間対応	
②外来診療時間	(一般外来)月曜～金曜 9時～17時 (救急外来)全日24時間対応	
③休診日	毎週土・日曜日、 その他(祝祭日、12月29日～1月3日)	
④初診時の予約の要否	一部の診療科で必要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)
⑤初診時の紹介状の要否	一部の診療科で必要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)
(7)診療科		
開設診療科名(医療法施行令第3条の2(法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名))を以下に記載		
開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのURL	www.municipal-hospital-sakai-	
内科	なし	(あり・休診中・なし)
呼吸器内科	あり	(あり・休診中・なし)
循環器内科	あり	(あり・休診中・なし)
消化器内科	あり	(あり・休診中・なし)
心臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
血液内科	あり	(あり・休診中・なし)
気管食道内科	なし	(あり・休診中・なし)
胃腸内科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)
代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)
脂質代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
腎臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
神経内科	あり	(あり・休診中・なし)
心療内科	なし	(あり・休診中・なし)
感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
漢方内科	なし	(あり・休診中・なし)
老年内科	なし	(あり・休診中・なし)
女性内科	なし	(あり・休診中・なし)
新生児内科	なし	(あり・休診中・なし)
性感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡内科	なし	(あり・休診中・なし)
人工透析内科	なし	(あり・休診中・なし)
疼痛緩和内科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック内科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー疾患内科	なし	(あり・休診中・なし)
内科(ペインクリニック)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(循環器)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(薬物療法)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(感染症)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(骨髄移植)	なし	(あり・休診中・なし)
外科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器外科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓血管外科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器外科	なし	(あり・休診中・なし)
乳腺外科	なし	(あり・休診中・なし)
小児外科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
肛門外科	なし	(あり・休診中・なし)
整形外科	あり	(あり・休診中・なし)
脳神経外科	あり	(あり・休診中・なし)

形成外科	なし	(あり・休診中・なし)
美容外科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍外科	なし	(あり・休診中・なし)
移植外科	なし	(あり・休診中・なし)
頭頸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
胸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
腹部外科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
臓腑外科	なし	(あり・休診中・なし)
胆のう外科	なし	(あり・休診中・なし)
食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
胃外科	なし	(あり・休診中・なし)
大腸外科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡外科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック外科	なし	(あり・休診中・なし)
外科(内視鏡)	なし	(あり・休診中・なし)
外科(がん)	なし	(あり・休診中・なし)
精神科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー科	なし	(あり・休診中・なし)
リウマチ科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科	あり	(あり・休診中・なし)
皮膚科	あり	(あり・休診中・なし)
泌尿器科	あり	(あり・休診中・なし)
産婦人科	あり	(あり・休診中・なし)
産科	なし	(あり・休診中・なし)
婦人科	なし	(あり・休診中・なし)
眼科	あり	(あり・休診中・なし)
耳鼻いんこう科	あり	(あり・休診中・なし)
リハビリテーション科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線診断科	なし	(あり・休診中・なし)
放射線治療科	あり	(あり・休診中・なし)
病理診断科	あり	(あり・休診中・なし)
臨床検査科	あり	(あり・休診中・なし)
救急科	あり	(あり・休診中・なし)
児童精神科	なし	(あり・休診中・なし)
老年精神科	なし	(あり・休診中・なし)
小児眼科	なし	(あり・休診中・なし)
小児耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
小児皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道・耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍放射線科	なし	(あり・休診中・なし)
男性泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
神経泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科(新生児)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(不妊治療)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(人工透析)	なし	(あり・休診中・なし)
産婦人科(生殖医療)	なし	(あり・休診中・なし)
美容皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科	なし	(あり・休診中・なし)
小児歯科	なし	(あり・休診中・なし)
矯正歯科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科口腔外科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器科	なし	(あり・休診中・なし)
循環器科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器科	なし	(あり・休診中・なし)
精神神経科	なし	(あり・休診中・なし)

②届出された先進医療の状況等			
先進医療への対応状況(がんに関するもの)			別紙2
③診療報酬に係る施設基準等(件数は平成21年9月-平成22年8月の集計)			
DPC対象病院			はい (はい・いいえ)
DPC準備病院(H22年度調査参加)			いいえ (はい・いいえ)
がん診療連携拠点病院加算(A232)	なし	(あり、なし)	0 件入院1回
退院時共同指導料2(B005)	あり	(あり、なし)	27 件入院中1回
緩和ケア診療加算(A226-2)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
緩和ケア病棟入院料(A310)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
麻薬管理指導加算(B008)	あり	(あり、なし)	175 件1回につき
がん性疼痛緩和指導管理料(B001-22)	なし	(あり、なし)	0 件月1回
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	あり	(あり、なし)	19 件入院中1回
外来化学療法加算I(第6部 通則)	あり	(あり、なし)	5,639 件1日につき
外来化学療法加算II(第6部 通則)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
診療録管理体制加算(A207)	あり	(あり、なし)	7,516 入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
医師事務作業補助体制加算(A207-2)	あり	(あり、なし)	9,048 入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
栄養管理実施加算(A233)	あり	(あり、なし)	56,897 件1日につき
医療安全対策加算(A234)	あり	(あり、なし)	8,992 件入院初日
退院調整加算(A238)	なし	(あり、なし)	0 件入院時1回、退院時1回
慢性期病棟等退院調整加算(A238)	なし	(あり、なし)	0 件入院時1回、退院時1回
急性期病棟等退院調整加算(A238-2)	あり	(あり、なし)	86 件退院時1回
救命救急入院料1(A300)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
救命救急入院料2(A300)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
救命救急入院料3(A300)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
救命救急入院料4(A300)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
特定集中治療室管理料(A301)	あり	(あり、なし)	1,259 件1日につき
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	あり	(あり、なし)	1,244 件1日につき
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	あり	(あり、なし)	155 件診療回数に応じて件数は計上しない。
在宅療養支援病院の施設基準	なし	(あり、なし)	
がん治療連携計画策定料(計画策定病院)(B001)	あり	(あり、なし)	12 件退院時1回
薬剤管理指導料(B008)	あり	(あり、なし)	13,169 件週1回
医療機器安全管理料(B011-4)	あり	(あり、なし)	816 件1月につき、放射線治療は一連で1回
検体検査管理加算(Ⅲ)(D026)	あり	(あり、なし)	24 件月1回
検体検査管理加算(Ⅳ)(D026)	あり	(あり、なし)	4,060 件月1回
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし	(あり、なし)	0 件月1回
画像診断管理加算1(第4部 通則)	あり	(あり、なし)	31,137 件月1回
画像診断管理加算2(第4部 通則)	あり	(あり、なし)	16,035 件月1回
遠隔画像診断による画像診断の施設基準	なし	(あり、なし)	0 件月1回
ポジトロン断層撮影(E101-2)	なし	(あり、なし)	0 件一連につき1回
コンピューター断層複合撮影の施設基準	なし	(あり、なし)	0 件一連につき1回
無菌製剤処理料1(G020)	あり	(あり、なし)	5,289 件1日につき
輸血管理料Ⅰ(K920-2)	あり	(あり、なし)	810 件月1回
輸血管理料Ⅱ(K920-2)	あり	(あり、なし)	539 件月1回
放射線治療管理料(M000)	あり	(あり、なし)	390 件分布図作成1回につき1回、治療過程において2回
放射線治療専任加算(M000)	あり	(あり、なし)	365 件1日につき
外来放射線治療加算(M000)	あり	(あり、なし)	3,615 件1日につき1回
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001)	あり	(あり、なし)	6,783 件1回
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M001-2)	なし	(あり、なし)	0 件1回
直線加速器による定位放射線治療の施設基準(M001-3)	なし	(あり、なし)	0 件1回
テレパノロジーによる術中迅速病理組織標本作製料(N003)	なし	(あり、なし)	0 件1手術につき
がん患者カウンセリング料(B001-23)	あり	(あり、なし)	34 件1回
(10)職員数	総職員数 (事務職員含む)	865	人
<p>・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。</p>			
①職種別内訳			
※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。			
		非常勤	常勤
※(常勤換算)			
医師	43.2	人	85
歯科医師	0	人	2
薬剤師	8.3	人	13
保健師	0	人	0
助産師	0	人	18
看護師	64.7	人	364
准看護師	24.4	人	7
理学療法士	2.9	人	3
作業療法士	1	人	0
視能訓練士	0	人	2
言語聴覚士	1	人	2
義肢装具士	0	人	0

歯科医師				
(社)日本口腔外科学会 口腔外科専門医	0	人	1	人
(社)日本病理学会 口腔病理専門医	0	人	1	人
看護師				
(社)日本看護協会 がん看護専門看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	人	1	人
(社)日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	人	2	人
(社)日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0	人	2	人
(社)日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0	人	2	人
(社)日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 手術看護認定看護師	0	人	0	人
IVR学会認定看護師	0	人	0	人
③その他専門的技術・知識を有する医療従事者				
	※(常勤換算)		常勤	
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0	人	1	人
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	1.8	人	2	人
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	人	2	人
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	1.8	人	5	人
日本臨床細胞学会 細胞検査士	0	人	4	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線	0	人	5	人
日本医学放射線学会 医学物理士	0.2	人	0	人
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	0	人	1	人
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	0	人	2	人
四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	3.6	人	0	人
その他				
日本医療薬学会 がん指導薬剤師	0	人	2	人
		人		人
		人		人
④その他の従事者				
医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外)	0	人	0	人
診療録管理部門の職員	3.6	人	2	人
医療心理に携わる者	0.5	人	0	人
治験コーディネーター	1.8	人	3	人
データマネージャー	(医学研究、特に臨床研究において、研究データの収集や入力、データの品質管理を担うデータマネージメントの専門家。医学知識、生物統計学の基礎知識、データベース等の情報工学の基礎知識を要する。)	0	人	0
生物統計家	(統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学研究の研究デザインやデータの統計解析を担当)	0	人	0
医師事務作業補助者	10	人	0	人
看護業務補助者	47.2	人	0	人
(11)その他(平成22年9月1日現在)				
①承認等の状況				
地域医療支援病院			承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院			承認あり	(承認あり、承認なし)
②夜間(深夜も含む)救急対応の可否				
			可	(可、否)
③各種委員会の設置状況				
倫理審査委員会	あり	(あり、なし)	年 7	回開催
治験審査委員会	あり	(あり、なし)	年 12	回開催
④診療情報管理の状況				
・病院情報システムの稼働状況				
検査オーダー			あり	(あり、なし)
処方オーダー			あり	(あり、なし)
診療予約オーダー			あり	(あり、なし)
入院病名オーダー			あり	(あり、なし)
外来病名オーダー			あり	(あり、なし)
電子カルテ			あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況				
ICD-10を入院病名管理に利用している			はい	(はい、いいえ)
ICD-10を外来病名管理に利用している			はい	(はい、いいえ)
⑤遠隔医療システム等の導入状況				
遠隔画像診断			なし	(あり、なし)
遠隔病理診断			なし	(あり、なし)
在宅療養支援			なし	(あり、なし)
外来診察室におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)

(12)患者数・診療件数の状況		
① 患者数等		
年間新入院のべ患者数（平成21年1月1日～12月31日）	10,533	人
年間新入院のべがん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	3,589	人
年間新入院のべ患者数に占めるがん患者の割合	34.1%	
年間外来のべがん患者延数（平成21年1月1日～12月31日）※3	59,184	人
年間院内死亡がん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	334	人
新入院のべ患者数（原則、平成22年4月1日～7月31日までの新入院患者。）	3,616	人
うちのべがん患者数	1,227	人
（新入院患者数に占めるがん患者の割合）	33.9%	
うちのべ肺がん患者数（ICD-10コード C34\$）	158	人
うちのべ胃がん患者数（ICD-10コード C16\$）	226	人
うちのべ大腸がん（直腸がんを含む）患者数（ICD-10コード C18\$, C19, C20）	179	人
うちのべ肝臓がん患者数（ICD-10コード C22\$）	105	人
うちのべ乳がん患者数（ICD-10コード C50\$）	99	人
* ※1 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※2 \$は以下の分類をすべて含んでいる。 ※3 年間外来のべがん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者のべ延数を記入する。同一患者が2以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。 ※4 新入院のべ（がん）患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は、その2回のべ患者数をその月のべ延数に算入する（重複患者は算入しない）。		
② 麻酔及び手術等の状況（平成22年4月1日～7月31日）		
全身麻酔（静脈麻酔は除く）	575	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数	342	件
イ 肺がん(C34\$)の手術件数		
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	4	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$	4	件
ウ 胃がん(C16\$)の手術件数		
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	37	件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	4	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	0	件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	12	件
エ 大腸がん(C18\$, C19, C20)の手術件数		
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$, K748\$	37	件
腹腔鏡下手術 K719-2\$, K719-3, K740-2\$	1	件
内視鏡手術 K7211	15	件
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数		
開腹手術 K695\$	5	件
腹腔鏡下手術 K695-2	0	件
マイクロ波凝固法 K697-2	0	件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	11	件
カ 乳がん(C50\$)の手術件数		
手術 K476\$	39	件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	4	件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	0	件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0	件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		
開胸手術 K514\$, K5182, K511\$	1	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	4	件
ク 転移性肝がん(C787)の手術件数		
開腹手術 K695\$	7	件
腹腔鏡下手術 K695-2	0	件
③ 放射線治療		
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。		
ア-1 のべ患者実数（平成21年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）		
例：平成21年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
体外照射	305	人
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	人
定位照射(体幹部)	0	人
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人
小線源治療	0	人
ア-2 のべ患者実数（平成22年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数）		
例：平成22年4月に新患として放射線治療を受け、同年7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
<入院>		
肺がん	18	人
胃がん	3	人
肝がん	0	人
大腸がん	4	人
乳がん	6	人
<外来>		
肺がん	2	人
胃がん	1	人
肝がん	0	人
大腸がん	3	人
乳がん	23	人

イ-1 照射回数（平成22年4月1日～7月31日のべ照射回数）		
体外照射	2,598	回
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	回
定位照射(体幹部)	0	回
強度変調放射線治療(IMRT)	0	回
小線源治療	0	回
イ-2 のべ照射回数（平成22年4月1日～7月31日）		
<入院>		
肺がん	307	回
胃がん	37	回
肝がん	0	回
大腸がん	105	回
乳がん	65	回
<外来>		
肺がん	40	回
胃がん	23	回
肝がん	0	回
大腸がん	57	回
乳がん	585	回
④ がんに係る化学療法（平成22年4月1日～7月31日）		
ア のべ患者数（化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、エトポシド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
<入院>	211	人
<外来>	616	人
イ のべ処方件数（抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
<入院>	1,035	件
<外来>	2,052	件
⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(平成21年1月1日～12月31日)	5,690	件
細胞診断(平成21年1月1日～12月31日)	9,066	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成21年1月1日～12月31日)	301	件
剖検(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	17	件
剖検率(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	4	%
イ 画像診断等の件数（平成21年1月1日～12月31日）		
上部消化管内視鏡検査	3,201	件
気管支内視鏡検査	245	件
大腸内視鏡検査	1,682	件
血管連続撮影	1,096	件
スパイラルCT検査	16,355	件
CTガイド下生検	25	件
MRI検査	5,574	件
RI診断検査(シンチグラム)	563	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査	385	件
PET(陽電子断層撮影)検査	0	件

3. 大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について

市立堺病院

指定要件での扱い

A:必須

B:原則必須

C:対応することが望ましい

-:指定要件に記載なし

1. 診療体制				
(1) 診療機能				
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能				
機能				
ア	5大がんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等ががん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 * 「5大がん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 * 「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療をいう。 * 「放射線療法」については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可とする。 * 「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
	放射線療法について、他の医療機関との連携によって対応する場合、放射線療法を連携する医療機関名について別紙3に記入すること。	A	別紙3	
イ	5大がん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等ががん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙4に記載すること。	A	別紙4	
エ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備している。 * 「院内クリティカルパス」とは、検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備状況を別紙5に記載すること。	A	別紙5	
カ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、がんセンターボードを設置している。 * キャンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	C	はい	(はい・いいえ)
② がん化学療法の提供体制機能				
機能				
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	C	はい	(はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 * 「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、がんセンターボードと連携協力している。	C	はい	(はい・いいえ)
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙6に記載すること。	C	別紙6	
診療従事者				
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	27	人
イ	うち常勤	B	27	人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	C	5	人
エ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専任薬剤師数	1人以上A	2	人
オ	外来化学療法室(外来化学療法室を整備しない医療機関にあつては、外来において化学療法を提供する体制)における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	8	人
カ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙7に記載すること。	-	別紙7	
③ 放射線療法の提供体制(放射線療法について他の医療機関との連携によってのみ対応する場合は、記入不要)				
診療従事者				
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	4	人
イ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数	1人以上A	2	人
ウ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤専任技術者等の人数	1人以上A	2	人
エ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙8に記載すること	-	別紙8	

④ 緩和ケアの提供体制			
機能			
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	A	別紙9
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順を別紙10に記載すること。	A	別紙10
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	C	はい (はい・いいえ)
オ	緩和ケア外来患者数(平成21年1月1日～12月31日)	C	137 人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記載すること。	C	別紙11
オ	緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが定期的に開催されている。	A	はい (はい・いいえ)
カ	緩和ケアチームに関する実績について別紙12に記入すること。	A	別紙12
カ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙13に記入すること。	A	別紙13
キ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
ク	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/humon-g/
	4.その他の方法で掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
		-	市民公開講座等で情報提供している
ケ	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙14に記入すること。	A	別紙14
コ	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
サ	国拠点病院が実施する緩和ケアに関する地域の医療機関との連携協力体制を整備に協力している。 *「国拠点病院」とは、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院をいう。	A	はい (はい・いいえ)
シ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)		0 床
ス	緩和ケア病棟を有している。	-	いいえ (はい・いいえ)
セ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。(院内で統一した疼痛の評価尺度がある)	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	1 人
イ	うち常勤	1人以上B	1 人
ウ	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	1人以上C	1 人
エ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	C	1 人
オ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	3 人
カ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上B	1 人
キ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	1 人
ク	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙15に記載すること。	-	別紙15
⑤ 病理診断(病理診断について、他の医療機関から協力を得られることによって対応する場合は、体制のみ記入。機能以降の項目は記入不要)			
体制			
ア	専従の病理診断に携わる医師を1人以上配置するか、又は他の医療機関から協力を得られる体制が確保されている。	A	はい (はい・いいえ)
	病理診断について、他の医療機関から協力が得られる体制の場合、病理診断の協力を得られる医療機関名について別紙16に記入すること。	A	別紙16
機能			
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	はい (はい・いいえ)
イ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい (はい・いいえ)
ウ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	はい (はい・いいえ)
エ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	3 人
イ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	4 人
ウ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙17に記載すること	-	別紙17

⑥ 病病連携・病診連携の協力体制			
ア	国拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
イ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
ウ	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	-	別紙18
ウ	地域の医療機関との連携協力体制の整備について、別紙19に記載すること。	-	別紙19
エ	国拠点病院が行う地域連携クリティカルパスの整備に協力する体制を整備している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、国拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	A	はい (はい・いいえ)
⑦ セカンドオピニオンの提示体制			
ア	5大がんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制を有すること。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい (はい・いいえ)
イ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙20に記載すること。	A	別紙20
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon/c/
	4.その他の方法で掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
		-	市民公開講座
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙21に記載すること。	-	別紙21
⑧ その他			
スタッフのサポート体制			
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
イ	大阪府がん診療拠点病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療			
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	いいえ (はい・いいえ)
	担当科		
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	はい (はい・いいえ)
(2) 医療施設			
① 年間入院がん患者数			
ア	年間入院がん患者数(1年間に入院したがん患者の延べ人数をいう。)が概ね500人以上である。	A	はい (はい・いいえ)
② 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置			
ア	放射線療法を行う場合は、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	はい (はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
エ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	はい (はい・いいえ)
オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙22に記載すること。	-	別紙22
③ 敷地内禁煙等			
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい (はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙 (敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
ウ	禁煙外来を実施している。	-	はい (はい・いいえ)
エ	「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している	-	はい (はい・いいえ)

2 研修の実施体制			
(1)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修に積極的に協力するとともに参加する。 ※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)に準拠した研修である。	A	はい (はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修への協力及び参加状況について、別紙23に記載すること。	-	別紙23
(2)	(1)のほか、国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加する。	A	はい (はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	-	別紙24
(3)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスに積極的に参加する。	A	はい (はい・いいえ)
	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25
3 情報の収集提供体制			
(1) 相談支援機能			
①	院内に相談支援機能を有する窓口(以下「相談支援窓口」)を設置している。	A	はい (はい・いいえ)
②	当該窓口配置しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以上A	2人
③	当該窓口は、国拠点病院と連携して患者、家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
④	相談支援窓口の相談対応状況を別紙26に記載すること。	-	別紙26
⑤	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築について、別紙27に記載すること。	-	別紙27
⑥	自施設を受診している、または、受診していた患者さんやご家族の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	-	469件
	ア 対面相談		465件
	イ 電話相談		4件
	ウ fax相談		0件
	エ e-mail相談		0件
⑦	自施設を受診していない患者さんやご家族、一般の方等の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	-	19件
	ア 対面相談		1件
	イ 電話相談		18件
	ウ fax相談		0件
	エ e-mail相談		0件
	相談件数合計		488
⑧	各種対応窓口について別紙28に記載すること。	-	別紙28
(2) 院内がん登録			
①	院内がん登録を実施している。	A	はい (はい・いいえ)
②	国が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。	C	はい (はい・いいえ)
	院内がん登録の登録項目数	-	92項目
	院内がん登録の登録実施項目について、別紙29に記載すること。	-	別紙29
③	院内がん登録を活用することにより、大阪府が行う地域がん登録事業にデータを提供している。	A	はい (はい・いいえ)
(3) その他			
①	臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。		はい (はい・いいえ)
ア	進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/
	4 その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
		-	具体的に
イ	参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon.c/
	4 その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
		-	具体的に
ウ	院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	はい (はい・いいえ)
	窓口で対応している。	-	はい (はい・いいえ)
	電話で対応している。	-	はい (はい・いいえ)
	FAXで対応している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	e-mailで対応している。	-	はい (はい・いいえ)
②	その他の情報提供等		
ア	患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-	いいえ (はい・いいえ)
イ	府民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-	はい (はい・いいえ)
ウ	患者・府民向け講演会を定期的に開催している。	-	はい (はい・いいえ)
エ	患者・府民向け講演会の実施情報について、別紙30に記載すること。	-	別紙30
③	府民へのメッセージ		
ア	HP公開用の府民へのメッセージを別紙31に記載すること。	-	別紙31

保有する放射線診療機器等の一覧

病院名

#REF!

平成22年9月1日現在

コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	8列
1	GE横河	Light Speed Ultra 16	2003.3.8	16列
2	GE横河	Light Speed Ultra 16	2004.10.18	16列
3				
4				
5				
6				
7				
8				

磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度(テスラ数)
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	1.5T
1	GE横河	Signa Horizon	1996.10.1	1.5T
2	PHILIPS	Acheva1.5T NovaDual	2004.12.13	1.5T
3				
4				
5				
6				

核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	SPECT	シーメンス	Multispect3	1996. 10. 1	
2	ガンマカメラ	シーメンス	Multispect2	1996. 10. 1	
3					
4					
5					

血管造影連続撮影検査(またはIVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	DSA	PHILIPS	Allura Xper	2005.12.20	
2	DSA	島津	Bransist Safire	2009.10.5	
3					
4					
5					

外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2005. 10. 1	6MV、10MV	有
1	リニアック	三菱	EXL-15DP	1996.10.1	4MV、10MV	有
2						
3						

小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	イリジウム-192
1				
2				
3				

放射線治療計画システム

X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1		
1	島津	SAT-20SP	1996.10.1		
2					
3					

放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2002.10.1		
1	島津	CTS-20SP	1996.10.1		
2					
3					

三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2006.10.1		
1	ELEKTA	Xio	1996.10.1		
2					
3					

バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2007.3.1
1			
2			
3			

高度医療への対応状況（がんに関するもの）

	高度医療技術名	第2項/ 第3項 (※)	承認年月日	実施件数 (平成22年 4月～8月)	担当診療科名
1	該当なし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

集学的治療の提供にあたって放射線療法を 他の医療機関との連携によって対応できる体制

平成21年1月から12月について記載(延べ数ではなく実数を記載すること。)

病院名

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	自院において対応		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

診療機能

期間 平成22年9月1日時点

病院名 #REF!

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の当 該疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績の掲 載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野の 掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を 掲載しているページの URL ※複数のページのURLの 記載可	
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http://
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
定位放射線治療	実施可	あり									
集学的治療		実施可		上記の科							
肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	外科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/geka
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	呼吸器内科	6	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/1kok
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			定位放射線治療	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし							
光線力学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ			
集学的治療		実施可		上記の科							
胃がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	4	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/geka
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/geka/igan.html
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	外科・消化器内科	7	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
光線力学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ			
集学的治療		実施可		上記の科							
大腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/geka
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	4	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	あり	外科・消化器内科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/hous
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の当 該疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績の掲 載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野の 掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を 掲載しているページの URL ※複数のページのURLの 記載可	
肝がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	あり	外科・消化器内科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	外科・消化器内科 放射線科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/1shouukaki01.html#one
			マイクロ波凝固法	実施可	なし						
			エタノール局所注入療法	実施可	あり						
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	あり	放射線科 消化器内科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/housh
定位放射線治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		上記の科							
乳がん	診療可	手術	乳房切除	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/geka/nyuugan.html
			乳房温存	実施可	あり						
			乳房再建	実施可	あり	形成外科(応援医)	0	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況	昨年の 実績	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
			※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)			治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い え)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
脳腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科	2	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		化学療法	実施可	なし	脳神経外科	2	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	神経膠腫(7例)、髄膜腫(2例)、神経鞘腫(1例)、下垂体腺腫(3例)、悪性リンパ腫(3例)、転移性脳腫瘍(8例)、骨腫瘍(2例)										
脊髄腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科・整形外科	3	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		化学療法	実施可	なし	脳神経外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 脊髄腫瘍など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	脊髄腫瘍(7例)										
眼、眼窩腫瘍	診療可	手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		冷凍凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		光凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		眼動注	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	なし										

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
頭頸部 がん	診療可	手術	摘除術、再建術	実施可	なし	耳鼻咽喉科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	なし	耳鼻咽喉科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		耳鼻咽喉科・放射線科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		下咽頭がん									
甲状腺 がん	診療可	手術		実施可	なし	耳鼻咽喉科・外科	2	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	なし	耳鼻咽喉科・外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
			放射性ヨード内服治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 甲状腺がん										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		甲状腺がん									
食道が ん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/geka
			胸腔鏡下手術	未実施	なし						
		内視鏡的治療	粘膜切除術 (EMR)	実施可	なし	消化器内科	3	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/geka
			粘膜下層剥離術 (ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	外科・消化器内科	7	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			小線源治療	未実施	なし						
		光線力学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
縦隔腫瘍	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	なし	呼吸器内科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		胸腺腫 胸腺腫							
中皮腫	診療可	手術		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	呼吸器内科	6	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 中皮腫 胸膜悪性中皮腫							
膵がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	あり	外科・消化器内科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 膵がん 膵がん							
胆道がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	あり	外科・消化器内科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/burmon_c/housh
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
十二指腸・小腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	あり	外科・消化器内科	2	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がん、小腸GIST									
腎がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
			腹腔鏡下手術	未実施	なし						
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		腎がん									
膀胱がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:膀胱がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		膀胱がん									

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い え)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
尿路がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinrvoka_c/2hinryouki.html
			腹腔鏡下手術	未実施	なし						
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		腎盂・尿管内注薬療法	実施可	なし	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		腎盂がん、尿管がん、尿道がん									
副腎腫瘍	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科・泌尿器科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
			化学療法	実施可	あり	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	2	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		褐色細胞腫、転移性副腎がん									
前立腺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinrvoka_c/2hinryouki.html
			腹腔鏡下手術	未実施	なし						
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし						
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		小線源治療	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:前立腺がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		前立腺がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績										
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況					
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です		
精巣がん	診療可	手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-		
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		集学的治療	実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:精巣がん								
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		精巣がん								
その他の男性生殖器がん	診療可	手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-		
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		集学的治療	実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:陰茎がん								
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		陰茎がん								
子宮がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/sinryoka_c/2san	
			腹腔鏡下手術(腔式)	未実施	なし							
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/housh	
			小線源治療	未実施	なし							
		光線力学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
集学的治療		実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮頸がん、子宮体がん										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		子宮頸がん、子宮体がん										
卵巣がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		集学的治療	実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:卵巣がん								
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		卵巣がん								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
その他の女性生殖器がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、腹膜がん、膣がん、外陰がん									
皮膚腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	皮膚科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	なし	皮膚科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
		インターフェロン療法		実施可	なし	皮膚科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		凍結療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		基底細胞がん、有棘細胞がん									
悪性骨軟部腫瘍	診療可	手術	切・離断術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
			患肢温存術	未実施	なし						
			再建術	未実施	なし						
			骨移植術	未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
小線源治療	未実施		なし								
集学的治療		未実施		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		転移性骨腫瘍									

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
血液腫瘍	診療可	化学療法	実施可	あり	血液内科	4	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		移植	自家末梢血幹細胞移植	実施可	あり	血液内科	4	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/sinrvoka_c/1ketueki.html
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-
			全身照射	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄増殖症候群、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など									
小児脳腫瘍	診療可	手術	実施可	なし	脳神経外科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		化学療法	実施可	あり	小児科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など 脳幹腫瘍									
小児網膜芽細胞腫	診療可	手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	なし	小児科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		眼動注	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		光凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例:小児網膜芽細胞腫 なし									
小児固形											

形腫瘍	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
小児悪性骨軟部腫瘍	診療可	手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	なし	小児科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/housh
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	なし										
その他の小児固形腫瘍	診療可	手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	なし	小児科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/housh
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	なし										
小児血液腫瘍	診療可	化学療法	実施可	あり	小児科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-	
		移植	自家末梢血幹細胞移植	実施可	なし	小児科	1	いいえ	いいえ	はい	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/sinrvoka/c/2shouni.html
			血縁者間同種造血幹細胞移植	実施可	なし						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/houshasen/houshasen.html
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	急性リンパ性白血病										
原発不明がん	診療可	手術	実施可	あり	外科・産婦人科	4	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	あり	外科・産婦人科	4	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-	
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:原発不明がん								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	原発不明がん										

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫	診療可	手術	実施可	なし	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	なし	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		集学的治療	実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:性腺外胚細胞腫 性腺外胚細胞腫							
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	診療可	手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		化学療法	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		放射線療法	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.muhipical-hospital-sakai-
		集学的治療	実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:GIST GIST							
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								

院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名	#REF!
パス整備数	49
パス適応数	227

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術/パス	8	2009/10/1
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	2008/5/1
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除パス	6	2010/1/20
1	血液腫瘍	化学療法	CHOP療法	0	2006/7/1
2	血液腫瘍	化学療法	DMVM	0	2006/7/1
3	血液腫瘍	化学療法	CHOP療法+リツキサン	0	2006/7/1
4	肺がん	その他	ブロンコ	16	2010/6/30
5	肝がん	化学療法	TAE/パス	18	2010/3/1
6	肝がん	手術療法	経皮ラジオ波凝固療法(RFA単独)	6	2010/5/15
7	肝がん	化学療法	PEIT	0	2009/7/3
8	大腸がん	その他	大腸内視鏡(前日)	5	2006/7/1
9	大腸がん	その他	大腸内視鏡(当日)	0	2006/7/1
10	胃がん	手術療法	上部消化管切開剥離法	9	2009/7/3
11	胃がん	手術療法	胃癌(全摘)	10	2009/6/29
12	胃がん	手術療法	幽門側胃切除	14	2009/6/29
13	胃がん	手術療法	ステージングラパロパス	4	2009/6/29
14	胃がん	化学療法	胃癌化学療法(TS1+CDDP)	2	2009/6/29
15	食道がん	手術療法	食道癌(2領域覚廓清)	0	2009/6/29
16	食道がん	手術療法	食道癌頸部廓清	0	2009/6/29
17	食道がん	化学療法	食道癌化学療法(FP療法)	4	2009/6/29
18	肺がん	手術療法	胸腔鏡補助下(肺癌)	7	2009/6/29
19	肺がん	手術療法	標準開胸術	2	2009/6/29
20	甲状腺がん	手術療法	甲状腺	0	2009/6/29
21	肝がん	手術療法	肝切除術	7	2009/6/29
22	膵がん	手術療法	膵頭十二指腸切除術	1	2009/6/29
23	胆道がん	手術療法	開腹胆嚢摘出術	0	2009/6/29

24	大腸がん	化学療法	直腸化学療法(2泊3日)	0	2009/6/29
25	大腸がん	化学療法	直腸化学療法(1泊2日)	0	2009/6/29
26	大腸がん	手術療法	右結腸切除術	2	2009/6/29
27	大腸がん	手術療法	左結腸切除	11	2009/6/29
28	大腸がん	手術療法	低位前方切除術	4	2009/6/29
29	大腸がん	手術療法	超低位前方切除術	0	2009/6/29
30	大腸がん	手術療法	直腸がん(マイルズ)	2	2009/6/29
31	大腸がん	手術療法	腹腔鏡補助下腸切除術	0	2009/6/29
32	乳がん	手術療法	乳癌(廓清あり)	16	2009/6/24
33	乳がん	手術療法	乳癌(廓清なし)	13	2009/6/24
34	乳がん	手術療法	乳癌再検	0	2009/6/24
35	乳がん	化学療法	KRN125(TAC療法 治験)	0	2010/2/1
36	胃がん	手術療法	EMR	0	2009/7/3
37	子宮がん	手術療法	子宮頸癌広汎子宮全摘術(フルマリン)	0	2009/5/28
38	子宮がん	手術療法	子宮頸癌広汎子宮全摘術(CEZ)	2	2009/5/28
39	子宮がん	手術療法	上皮内腫瘍円錐切除(脊椎麻酔)	4	2009/5/26
40	子宮がん	手術療法	子宮体部、卵巣悪性腫瘍リンパ節廓清術(フルマリン)	1	2009/5/28
41	卵巣がん	手術療法	卵巣腫瘍、付摘、試験開腹、全麻(フルマリン)	0	2009/5/28
42	卵巣がん	手術療法	卵巣腫瘍、付摘、試験開腹、全麻(CEZ)	14	2009/5/28
43	卵巣がん	手術療法	卵巣腫瘍、付摘、試験開腹、脊麻(フルマリン)	0	2009/5/28
44	卵巣がん	手術療法	卵巣腫瘍、付摘、試験開腹、脊麻(CEZ)	0	2009/5/28
45	その他の女性生殖器がん	化学療法	婦人科悪性腫瘍化学療法	20	2009/5/26
46	卵巣がん	手術療法	卵巣腫瘍(腹腔鏡下術)	5	2009/5/26
47	膀胱がん	手術療法	TUR-BT	13	2010/6/15
48	前立腺がん	その他	前立腺生検	9	2009/7/3
49	頭頸部がん	手術療法	耳下腺腫瘍	6	2009/6/29
50					
51					
52					
53					
54					

55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					

86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					
101					
102					
103					
104					
105					
106					
107					
108					
109					
110					
111					
112					

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 平成22年 4月 1日 ～ 8月31日

病院名

#REF!

名称	構成メンバー(◎:委員長)	備考
(例)レジメン管理委員会	◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長	
レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	◎外科主任部長、血液内科部長、女性科外来担当部長、消化器内科部長、産婦人科部長、泌尿器科部長、乳腺外科担当部長、薬剤・技術部部長、薬剤科主査、薬剤科、看護局・副師長、経営改革室副理事、経営改革室主幹	

開催実績(開催日)	委員会名称	承認レジメン数
例:4月10日	レジメン管理委員会	5
4月23日	レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	5
4月30日	レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	2
5月14日	レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	3
5月28日	レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	2
6月11日	レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	2
6月25日	レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	4
6月29日	化学療法レジメン管理の ルール作りプロジェクトチーム	0
7月16日	レジメン登録審査会(外来化学療法部会)	6
8月4日	化学療法レジメン管理の ルール作りプロジェクトチーム	0

外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名

#REF!

職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任 /兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例) 医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1 医師	外科	常勤	兼任	26	日本外科学会 専門医(2002年) 日本消化器外科学会 指導医(1995年) 日本消化器病学会 指導医(2001年)
2 医師	外科	常勤	専任	16	日本外科学会 専門医(2002年) 日本消化器外科学会 認定医(1996年) 日本消化器病学会 専門医(2001年)
3 医師	外科	常勤	兼任	18	日本外科学会 専門医(2002年) 日本消化器病学会 専門医(2003年) 日本癌治療認定医機構 認定医(2008年)
4 医師	外科	常勤	兼任	19	日本外科学会 専門医(2002年) 日本消化器外科学会 指導医(2002年)
5 医師	外科	常勤	兼任	16	日本外科学会 専門医(2002年) 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医(2005年) 日本がん治療認定医機構 認定医(2008年)
6 医師	外科	常勤	兼任	15	日本外科学会 専門医(2008年) 日本がん治療認定医機構 認定医(2008年)
7 医師	外科	常勤	兼任	10	日本外科学会 専門医(1999年) 日本乳癌学会 認定医(2007年)
8 医師	外科	常勤	兼任	6	日本外科学会 専門医(1999年) 日本乳癌学会 乳腺専門医(2008年) 日本がん治療認定医機構 認定医(2008年)
9 医師	産婦人科	常勤	兼任	16	日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医(2007年)
10 医師	泌尿器科	常勤	兼任	21	日本泌尿器学会 専門医(1986年)
11 医師	泌尿器科	常勤	兼任	19	日本泌尿器学会 専門医(1991年)
12 医師	泌尿器科	常勤	兼任	16	日本泌尿器学会 専門医(1996年)
13 医師	皮膚科	常勤	兼任	21	日本皮膚科学会 専門医(1990年)
14 医師	歯科口腔外科	常勤	兼任	16	日本口腔外科学会 専門医(1995年) 日本がん治療認定医機構 暫定教育医(2009年)

15	医師	耳鼻咽喉科	常勤	兼任	16	日本耳鼻咽喉科学会 専門医(1998年)
16	医師	血液内科	常勤	専従	33	日本内科学会 認定医(1991年) 日本血液学会 血液専門医(1991年) 日本がん治療認定医機構 暫定教育医(2007年)
17	医師	消化器内科	常勤	兼任	21	日本内科学会 内科認定医(2005年) 日本消化器病学会 専門医(2003年) 日本消化器内視鏡学会 専門医(2004年)
18	医師	消化器内科	常勤	兼任	15	日本内科学会 内科認定医(2000年) 日本消化器病学会 専門医(2002年) 日本消化器内視鏡学会 専門医(2004年)
19	医師	消化器内科	常勤	兼任	12	日本内科学会 内科認定医(2007年)
20	医師	呼吸器内科	常勤	兼任	26	日本呼吸器学会 専門医(1994年) 日本内科学会 専門医(1990年)
21	医師	呼吸器内科	常勤	専任	18	日本呼吸器学会 専門医(2003年) 日本内科学会 専門医(1992年)
22	医師	呼吸器内科	常勤	専任	6	日本呼吸器学会 専門医(2008年)
23	医師	呼吸器内科	常勤	専任	4	日本内科学会 総合内科専門医(2008年)
24	医師	脳神経外科	常勤	兼任	25	日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医(1991年) 日本脳卒中学会 専門医(2003年)
25	医師	脳神経外科	常勤	兼任	17	日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医(2001年)
26	医師	小児科	常勤	兼任	20	日本小児科学会 小児科専門医(1993年) 日本血液学会 血液専門医(2006年) 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医(2008年)
27	医師	小児科	常勤	兼任	2	日本小児科学会 小児科専門医(2004年)
28	薬剤師		常勤	専従	13	日本医療薬学会がんに指導薬剤師(2010年) 日本医療薬学会がんに専門薬剤師(2010年) 日本病院薬剤師会 がんに専門薬剤師(2008年)
29	薬剤師		常勤	専任	18	日本医療薬学会がんに指導薬剤師(2010年) 日本病院薬剤師会 がんに専門薬剤師(2010年) 日本病院薬剤師会 がんに薬物療法認定薬剤師(2008年)
30	薬剤師		非常勤	専任	33	日本病院薬剤師会 がんに薬物療法認定薬剤師(2008年)
31	薬剤師		非常勤	専任	12	日本病院薬剤師会近畿ブロック癌化学療法専門薬剤師(2005年) 日本病院薬剤師会 がんに薬物療法認定薬剤師(2008年)
32	看護師		常勤	専従	13	

33	看護師	常勤	専従	10	
34	看護師	常勤	専従	10	
35	看護師	常勤	専従	2	
36	看護師	常勤	兼任	12	緩和ケア認定看護師(2009年)
37	看護師	常勤	兼任	10	乳癌看護認定看護師(2009年)
38	看護師	常勤	兼任	9	乳癌看護認定看護師(2006年)
39	看護師	常勤	兼任	19	緩和ケア認定看護師(2008年)

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。（「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知）の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照）。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名

#REF!

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	放射線治療科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	放射線治療科	常勤	専従	38年	日本放射線腫瘍学会終身認定医(2009年) 同 認定医(1999年) 日本医学放射線学会専門医(1998年)
2	医師	放射線治療科	非常勤	専従	33年	日本医学放射線学会専門医(1988年) 日本放射線腫瘍学会認定医(1998年)
3	医師	放射線治療科	非常勤	専従	32年	日本医学放射線学会専門医(1988年) 日本放射線腫瘍学会認定医(1998年)
4	医師	放射線治療科	非常勤	専従	3年	日本医学放射線学会認定医(2009年)
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

緩和ケアチームの組織・体制

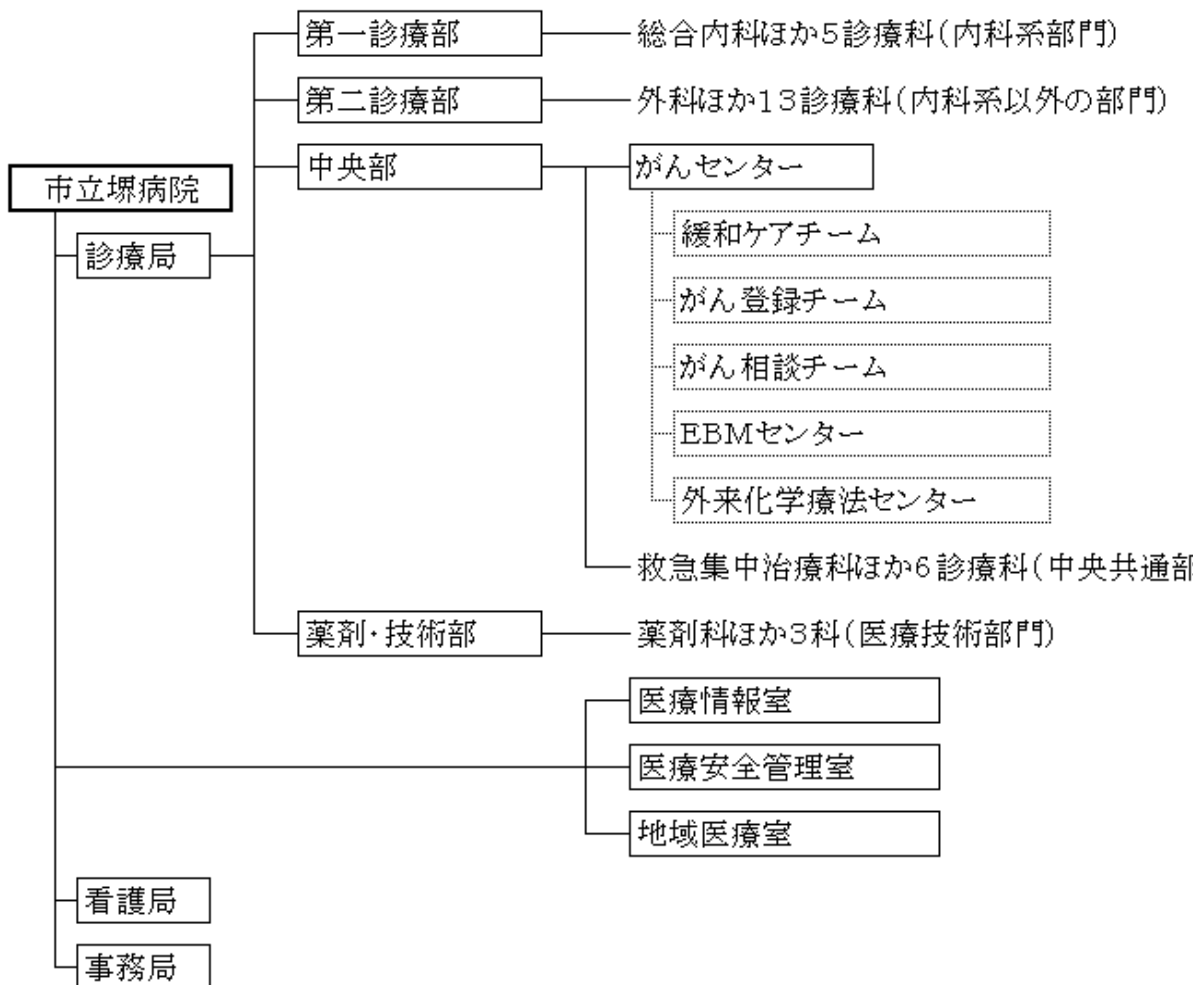
病院名

#REF!

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図

市立堺病院 組織図

平成22年10月1日現在



緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 平成22年9月1日時点

病院名 #REF!

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

緩和ケアチームの入院患者への介入は、基本的に毎週1回（水曜日）、主治医から紹介のあった患者をチームのメンバーが訪床する（＝「緩和ケア回診」、以下「回診」という形で行われる。

回診は、緩和ケア担当医・担当看護師長・緩和ケア認定看護師・薬剤師を基本メンバーとして行い、相談内容や必要性に応じてソーシャルワーカー他関係職種が加わることもある。

紹介手順

- ① 主治医は患者または家族に対し、緩和ケアチームとその紹介の必要性について説明し、紹介の同意を得る。
- ② 主治医（または看護師、関係スタッフ）は当該患者の電子カルテ上で、緩和ケアの回診予約および緩和ケア連絡票（図1参照）を入力し、緩和ケアチームへ回診依頼をする。
- ③ 緩和ケア担当医は、回診当日に回診予約患者を確認し、必要に応じて主治医と介入内容等を確認した上で、チームメンバーと共に回診を行う。

図1 緩和ケア連絡票

緩和ケア連絡票1 緩和ケア連絡票2

患者情報 ※ 赤字の項目は入力必須です

主たる病名 胃癌再発、肝転移

既往・治療状況・予後等 ○年○月○日に胃全摘出術。今回再発にて入院。多発肝転移もあり、積極的治療の適応なく予後数ヶ月の見込み。

本人への告知状況
 全告知
 部分告知
 未告知

詳しい告知内容
 胃癌の再発です。薬で様子を見ましょう。(肝転移については未告知)

キーパーソン ですと（はなこ） (本人との続柄) 妻

連絡先 ****-****-****

注:2頁目も入力してください!

緩和ケア連絡票1 緩和ケア連絡票2

相談内容
 疼痛コントロールについて
 精神的ケアについて
 今後の治療方針について
 その他

相談の詳細
 骨転移によると思われる背部痛訴えがあり、オキシコドン錠を10mg→20mgに増量しましたが、効果がないようです。オピオイド処方についてご助言ください。

本人の希望 痛みをとって、眠れるようにしたい

家族の希望

戻る 閉じる

外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 #REF!

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

【診療部門】

		【診療部門】					
		月	火	水	木	金	
外科	午前	1診					
		2診					
		3診					
	午後 (予約)	1診					
		2診		緩和ケア 緩和治療 担当部長			
		3診					
			腫瘍精神科 ※1) 担当医師				

※1)月曜日『腫瘍精神科』として外科内で診察枠を設けており、予約、紹介により受診を受付けています。

【看護部門】

		【看護部門】				
		月	火	水	木	金
看護 専門 外来	午前			緩和ケア 緩和ケア 認定看護師	緩和ケア 緩和ケア 認定看護師	
	午後			緩和ケア 緩和ケア 認定看護師		

水曜日午後、木曜日午前・午後、外科内で『看護専門外来』の一部として行っており、退院後の患者さん、患者さんのご家族に対し予約及び院内Dr指示依頼のもと受診を受付けています。

【がん相談】

		【がん相談】				
		月	火	水	木	金
がん 相談	午前	随 時				
	午後					

緩和ケアチームに対する新規診療症例

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 市立堺病院

総数 41

注1) 診療回数は、緩和ケアチームによる診療が診療録に記載されたもののみとすること。

注2) 緩和ケア病棟に入院している期間の診療は除くこと。

注3) 記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	外来/ 入院	主病名	主診療科	診療 依頼日	依頼者の 所属 自施設/ 他施設 /その他	診療依頼者	診療依頼内容	診療 開始日	診療 終了日	診療 回数	診療内容
(例)	外来	肺がん	呼吸器内科	6月1日	他施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	6月5日	継続中	8	疼痛コントロール、カウンセリング
1	入院	急性リンパ性 白血病	血液内科	6月1日	自施設	Ns	メンタルケア	6月1日	継続中	3	メンタルケア
2	入院	肺がん	呼吸器内科	6月3日	自施設	Dr	抑うつ	6月3日	6月28日	3	抑うつ
3	入院	肺ガン	呼吸器内科	6月7日	自施設	Ns	メンタルケア	6月7日	6月15日	5	メンタルケア
4	入院	肝ガン	外科	6月9日	自施設	Pt	メンタルケア	6月9日	6月15日	2	メンタルケア
5	入院	結腸ガン	外科	6月9日	自施設	Ns	疼痛管理	6月9日	7月15日	6	疼痛管理・メンタルケア
6	入院	前立腺ガン	泌尿器科	6月10日	自施設	Dr	リンパ浮腫	6月10日	6月10日	1	リンパ浮腫
7	入院	肺がん	呼吸器内科	6月10日	自施設	Ns	家族ケア	6月10日	6月10日	1	家族ケア
8	入院	前立腺がん	泌尿器科	6月14日	自施設	Dr	せん妄	6月14日	6月27日	2	せん妄
9	入院	卵巣ガン	産婦人科	6月15日	自施設	Dr	疼痛管理	6月15日	7月1日	3	疼痛管理
10	入院	バジェット病	皮膚科	6月15日	自施設	Dr	疼痛管理	8月3日	9月14日	3	疼痛管理・家族ケア
11	入院	肺がん	呼吸器内科	6月16日	自施設	Ns	家族ケア	6月16日	6月16日	1	家族ケア
12	入院	急性リンパ性 白血病	血液内科	6月16日	自施設	Dr	適応障害	6月28日	7月5日	2	適応障害

13	入院	胃がん	外科	6月16日	自施設	Dr	疼痛管理	6月16日	6月16日	1	疼痛管理
14	入院	卵巣がん	婦人科	6月16日	自施設	Ns	疼痛管理	6月16日	6月16日	1	疼痛管理
15	入院	胃がん	内科	6月21日	自施設	Ns	メンタルケア	6月21日	7月28日	5	メンタルケア
16	入院	胃ガン	外科	6月22日	自施設	Dr	疼痛管理	6月22日	9月19日	6	疼痛管理
17	入院	膀胱がん	泌尿器科	6月22日	自施設	Ns	疼痛管理	6月22日	7月27日	7	疼痛管理
18	入院	喉頭ガン	耳鼻科	6月23日	自施設	Ns	疼痛管理	6月23日	6月27日	5	疼痛管理
19	外来	大腸ガン	外科	6月24日	自施設	Ns	疼痛管理	6月24日	8月17日	4	疼痛管理・リンパ浮腫
20	入院	胃がん	外科	6月24日	自施設	Dr	抑うつ	6月29日	7月22日	4	抑うつ
21	入院	肺がん	呼吸器内科	6月28日	自施設	Ns	メンタルケア	6月28日	7月26日	6	メンタルケア
22	入院	膵臓がん	外科	7月1日	自施設	Ns	メンタルケア	7月1日	継続中	5	メンタルケア
23	入院	胆嚢ガン	外科	7月2日	自施設	Ns	メンタルケアについて相談	7月2日	7月2日	1	相談
24	外来	胃がん	外科	7月2日	自施設	Dr	メンタルケア	7月2日	7月9日	2	メンタルケア
25	入院	胃がん	外科	7月5日	自施設	Dr	せん妄	7月5日	7月5日	1	せん妄
26	入院	結腸ガン	外科	7月6日	自施設	Dr	疼痛管理	7月6日	9月20日	4	疼痛管理・メンタルケア
27	入院	肺がん	呼吸器内科	7月8日	自施設	Ns	メンタルケア	7月8日	7月8日	1	メンタルケア
28	入院	肺がん	外科	7月12日	自施設	Dr	メンタルケア	7月12日	7月12日	1	メンタルケア
29	入院	大腸がん	外科	7月13日	自施設	Ns	家族ケア	7月13日	7月13日	1	家族ケア
30	入院	肝がん	外科	7月13日	自施設	Ns	疼痛管理	7月13日	7月20日	2	疼痛管理
31	入院	肺ガン	外科	7月14日	自施設	Dr	調整	7月14日	8月3日	4	退院調整・家族ケア
32	入院	結腸ガン	外科	7月14日	自施設	Dr	メンタルケア	7月14日	継続中	5	メンタルケア・家族ケア
33	入院	肺がん	呼吸器内科	7月15日	自施設	Dr	メンタルケア	7月15日	7月29日	3	メンタルケア

34	入院	肺ガン	外科	7月20日	自施設	Dr	疼痛管理・メンタルケア	7月20日	継続中	3	疼痛管理・メンタルケア
35	入院	肺がん	呼吸器内科	7月20日	自施設	Dr	メンタルケア	7月20日	8月13日	4	メンタルケア
36	入院	子宮頸ガン	婦人科	7月21日	自施設	Dr	メンタルケア	7月22日	9月6日	1	メンタルケア
37	入院	大腸がん	外科	7月22日	自施設	Dr	睡眠障害	7月22日	7月26日	2	睡眠障害
38	入院	下咽頭がん	耳鼻科	7月26日	自施設	Dr	せん妄	7月26日	7月26日	1	せん妄
39	入院	悪性リンパ腫	内科	7月27日	自施設	Ns	疼痛管理	7月27日	継続中	1	疼痛管理
40	入院	膀胱がん	泌尿器科	7月27日	自施設	Ns	疼痛管理	7月27日	9月2日	1	疼痛管理
41	入院	肺がん	呼吸器内科	7月29日	自施設	Dr	メンタルケア	7月29日	継続中	1	メンタルケア

緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

(別紙13)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名

2ヶ月分の総数

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	7月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1	6月2日	60	3	8	外科	放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
2	6月2日	60	3	8	泌尿器	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
3	6月2日	60	1	8	消化器内科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
4	6月9日	60	5	8	呼吸器内科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
5	6月9日	60	6	8	外科	放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
6	6月9日	60	2	8	泌尿器科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
7	6月9日	60	1	8	消化器内科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
8	6月16日	60	6	7	呼吸器内科	外科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師

9	6月16日	60	3	7	外科	外科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
10	6月16日	60	2	7	泌尿器科	外科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
11	6月16日	60	4	7	婦人科	外科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
12	6月16日	60	1	7	消化器内科	外科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
13	6月23日	60	1	13	外科	放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師 乳がん認定看護師
14	6月30日	60	6	8	呼吸器	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
15	6月30日	60	3	8	泌尿器	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
16	6月30日	60	2	8	外科	放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
17	6月30日	60	1	8	消化器内科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師
18	7月14日	60	6	8	呼吸器内科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師
19	7月14日	60	5	8	泌尿器科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師

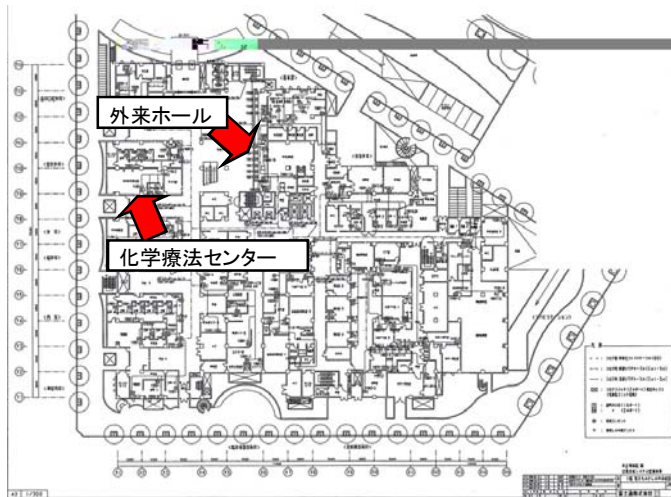
20	7月14日	60	6	8	外科	放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師
21	7月14日	60	1	8	消化器内科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師
22	7月14日	60	1	8	整形外科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師
23	7月14日	60	3	8	婦人科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師
24	7月21日	60	4	8	呼吸器	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師
25	7月21日	60	1	8	婦人科	外科・放射線科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、放射線科医、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師
26	7月28日	60	1	11	外科	外科	緩和ケア医、呼吸器外科部長、薬剤師、ソーシャルワーカー 看護師長 看護師 緩和ケア認定看護師 がん性疼痛認定看護師 乳がん認定看護師
27							
28							
29							
30							

緩和ケアに関する広報

病院名

#REF!

緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)



1F平面図 外来ホールと化学療法センターでの撮影位置



緩和ケアとは、がんの痛みや、その他の西
 痛を和らげるための治療や
 援助のことです。

市立病院では、医師・看護師・薬剤師・MSW(医療相談員)でチ
 ムを作り、緩和ケアに取り組んでいます。入院して緩和ケアを受けたい患者
 様へ、主治医や病棟看護師とともに、緩和ケアチームとして支援を行って
 います。

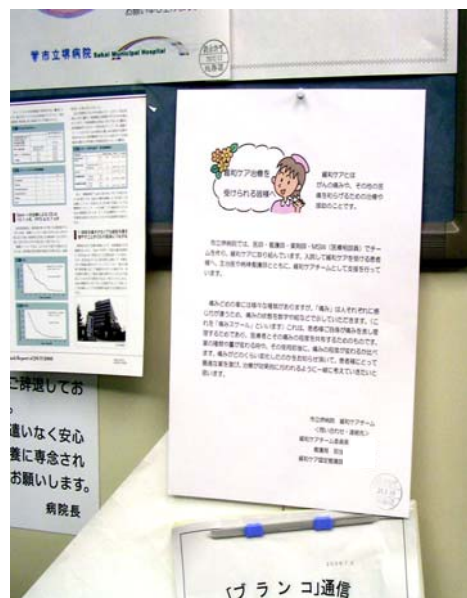
痛みどめには様々な種類がありますが、「痛み」は人それぞれに感
 じ方が違うため、痛みの状態を数字や顔などで示していただきます。(こ
 れを「痛みスケール」といいます)これは、患者様と自身が痛みを話し
 合うためであり、医療者とその痛みの程度を共有するためのものです。
 薬の種類や量が変化する時や、その使用前後に、痛みの程度が変わるか比
 べます。痛みがどのくらい変化したのかをお知らせ頂いて、患者様にとって
 最適な薬を選び、治療が効果的に行われるように一緒に考えていきたいと
 思います。

市立病院 緩和ケアチーム
 <問い合わせ・連絡先>
 緩和ケアチーム委員長
 看護師 担当
 緩和ケア認定看護師

緩和ケア診療案内



外来ホールでの掲示状況



化学療法センターでの掲示状況

緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する
 身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、
 看護師(*)の専門性

病院名

#REF!

	チームでの役割	診療科(医師のみ記載)	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数	専門医等資格
(例)	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	身体症状の緩和に携わる医師	ガンセンター	常勤	専任	15年	日本外科学会 認定医(1990年) 同 専門医(2002年) 日本消化器外科学会 認定医(1992年) 日本乳癌学会 認定医(2000年) 日本大腸肛門学会 大腸肛門病専門医(2002年) 日本消化器内視鏡学会 認定医(2002年) 同 専門医(2007年) 日本消化器病学会 専門医(2003年) 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医(2005年) 日本癌治療認定医機構 認定医(2008年) 日本緩和医療学会暫定指導医(2010年)
2	身体症状の緩和に携わる医師	消化器内科	常勤	兼任	3年	日本内科学会 内科認定医(2000年) 日本消化器病学会 消化器病専門医(2002年) 日本消化器内視鏡学会 専門医(2004年)
3	身体症状の緩和に携わる医師	放射線治療科	常勤	兼任	36年	日本医学放射線学会 放射線科専門医(1998年) 日本放射線腫瘍学会 認定医(1999年)
4	身体症状の緩和に携わる医師	外科	常勤	兼任	1年	日本外科学会専門医(2005年)
5	精神症状の緩和に携わる医師	腫瘍精神科	非常勤	専従	1年	
6	看護師		常勤	専従	6年	日本看護協会 緩和ケア認定看護師(2008年)
7	看護師		常勤	兼任	7年	日本看護協会 緩和ケア認定看護師(2009年)
8	看護師		常勤	兼任	12年	日本看護協会 がん性疼痛認定看護師(2010年)
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

* 緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

病理診断について他の医療機関から協力によって対応できる体制

平成22年1月から12月について記載

病院名 市立塚病院

	病理診断について協力をうける医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	自院において対応		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名

#REF!

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	病理診断科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	病理・研究科	常勤	専従	15年	病理学会専門医(2002年)、臨床細胞学会(2003年)
2	医師	病理・研究科	常勤	専従	8年	病理学会専門医(2009年)、臨床細胞学会(2006年)
3	医師	病理・研究科	常勤	専従	17年	病理学会口腔病理専門医(1999年)
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 市立堺病院

平成22年6～7月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの受け入れ件数	他医療機関への紹介件数
(例)	25	80	90
	187	188	132

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	NTT西日本病院	0	1
2	明石医療センター	0	1
3	浅香山病院	1	0
4	新井内科クリニック	2	2
5	淡田クリニック	1	1
6	飯田一条通診療所	3	3
7	池上医院	1	0
8	いしだ医院	3	4
9	石田医院	0	1
10	いしだクリニック	1	0
11	いしはまクリニック	1	0
12	和泉市立病院	1	1
13	井関クリニック	2	1
14	いずみクリニック	1	0
15	伊東歯科	1	0
16	井上歯科	1	0
17	井上診療所	1	1
18	いぶきの病院	0	1
19	岩崎医院	0	1
20	岩本内科クリニック	1	0
21	植木病院	1	2
22	植田クリニック	1	0
23	臼井内科・消化器科クリニック	3	2
24	唄医院	0	1
25	宇津医院	1	0
26	梅沢医院	1	0
27	梅山医院	1	0
28	江藤内科医院	1	0
29	近江内科医院	1	0
30	大川内科医院	2	0

病院名 市立堺病院

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
31	大阪医療センター	0	2
32	大阪市立大学医学部附属病院	1	1
33	大阪大学医学部附属病院	0	4
34	大阪府立急性期総合医療センター	1	1
35	大阪府立成人病センター	2	6
36	大阪労災病院	4	4
37	大住医院	1	0
38	大槻レディースクリニック	0	1
39	鳳胃腸病院	5	1
40	岡内科クリニック	1	0
41	おくだ耳鼻咽喉科	1	0
42	小田医院	1	0
43	面川外科胃腸科	2	0
44	柿原クリニック	2	0
45	香ヶ岡診療所	1	0
46	片山土師診療所	1	0
47	葛城病院	1	0
48	加藤内科みなとクリニック	1	0
49	かとう鳳クリニック	1	1
50	金山内科クリニック	1	0
51	神元クリニック	0	1
52	亀岡クリニック	0	1
53	菅野クリニック	0	1
54	神原医院	2	0
55	木沢記念病院	1	1
56	岸和田徳洲会病院	0	1
57	岸和田盈進会病院	0	2
58	きたがわ医院	0	1
59	北田診療所	0	1
60	北野病院	1	0
61	木寺クリニック	1	0
62	京都大学粒子線腫瘍学研究センター	0	2
63	近畿中央胸部疾患センター	0	1
64	近畿大学医学部附属病院	3	5
65	近畿大学医学部奈良病院	1	0
66	久家医院	1	2
67	熊野クリニック	1	1
68	隈病院	1	0
69	結核予防会大阪府支部相談診療所	1	0
70	恒進会病院	0	2

71	神戸大学医学部附属病院	0	1
72	小杉記念病院	1	0
73	湖東記念病院	2	0
74	後藤内科	1	0
75	斎藤医院	2	0
76	斎藤耳鼻咽喉科	1	0
77	坂口医院	1	0
78	堺京町ヒロクリニック	0	1
79	堺近森病院	1	2
80	堺フジタ病院	1	0
81	堺山口病院	1	0
82	堺ラ・メール	1	0
83	坂口クリニック	1	0
84	坂口泌尿器科	1	1
85	桜橋渡辺病院	0	1
86	佐藤内科医院	2	1
87	沢田レディースクリニック	1	0
88	椎名医院	0	1
89	耳鼻咽喉科ありたクリニック	1	0
90	清水レディースクリニック	0	1
91	市立貝塚病院	0	1
92	白庭病院	1	0
93	城山病院	1	0
94	すが内科クリニック	1	0
95	正風病院	1	2
96	清恵会三宝病院	0	2
97	清恵会病院	1	0
98	玉井クリニック	2	0
99	田仲北野田病院	1	2
100	武市耳鼻咽喉科	2	0
101	大仙病院	1	1
102	高安内科・循環器科クリニック	3	1
103	高石加茂病院	0	1
104	高石藤井病院	1	1
105	高田外科	1	2
106	高田内科クリニック	0	2
107	高村医院	1	0
108	武田内科	1	0
109	多田クリニック	0	2
110	たちばな内科クリニック	2	0
111	田中医院	1	1
112	谷クリニック	1	0

113	谷和医院	1	0
114	田端医院	1	0
115	タマダ病院	3	0
116	田村外科	1	0
117	ちぬが丘診療所	1	0
118	塚田内科クリニック	1	0
119	辻本病院	1	0
120	津本クリニック	1	0
121	帝塚山病院	1	0
122	東京済生会中央病院	1	0
123	徳川レディースクリニック	2	1
124	富山整形外科	1	0
125	ともつ内科クリニック	2	1
126	富山市民病院	1	0
127	中川クリニック	1	0
128	中村整形外科	1	0
129	なかもずクリニック	0	1
130	奈良社会保険病院	2	0
131	西大阪ホームケアクリニック	1	0
132	西谷内科	0	1
133	はつしば山本クリニック	1	0
134	八田荘嘱託医	1	0
135	馬場記念病院	0	2
136	浜寺病院	1	0
137	阪堺病院	2	2
138	阪和第二泉北病院	2	2
139	阪南中央病院	1	0
140	阪和第一泉北病院	1	0
141	阪和第二病院	0	1
142	東大阪生協病院	0	1
143	ひじい耳鼻咽喉科	1	0
144	日野クリニック	2	1
145	福井県立病院	0	1
146	福井耳鼻咽喉科	1	0
147	藤森クリニック	0	1
148	藤田医院	3	0
149	藤田歯科	1	0
150	藤原診療所	0	1
151	別所外科診療所	0	1
152	邦和病院	0	1
153	北条病院	0	1
154	星クリニック	5	3

155	星田医院	1	0
156	堀井医院	0	1
157	ますたにクリニック	1	1
158	増本医院	0	1
159	松浦クリニック	1	1
160	松並診療所	1	0
161	松原徳洲会病院	1	0
162	松村内科クリニック	1	2
163	松本医院	1	0
164	まつ本内科クリニック	1	0
165	耳原総合病院	3	2
166	三谷ファミリークリニック	1	0
167	南医院	2	0
168	南塚病院	1	0
169	蓑田医院	1	0
170	みみはら高砂クリニック	1	0
171	村上医院	1	0
172	森本医院	1	0
173	森山耳鼻咽喉科	1	0
174	八尾徳洲会病院	0	1
175	八木クリニック	1	1
176	山県医院	0	1
177	山田内科医院	1	0
178	山戸クリニック	1	0
179	山本胃腸科外科	0	1
180	山本クリニック	0	1
181	吉川病院	4	1
182	吉田診療所	1	0
183	吉田レディースクリニック	1	0
184	米田外科	0	1
185	頼整形外科クリニック	0	1
186	りんくう総合医療センター	0	1
187	和歌山医科大学附属病院	1	0

地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名

#REF!

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
(例1)	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	12月7日	2時間	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
1	5月13日	1時間	堺市医師会パス部会	二次医療圏内医療機関・医師会	堺第一ホテル	15人	堺市医師会胃がん連携パスについて
2	6月25日	2時間	大阪キャンサーケアフォーラム	市立堺・近大狭山・近大堺 近大奈良	スイスホテル	20人	緩和医療について
3	7月9日	2時間	大阪府パス連携部会	大阪府がん拠点病院	KKRホテル大阪	50人	大阪府がん統一パスについて
4	7月18日	2時間	ATCネットワークミーティング	南大阪・和歌山・奈良の医療機関	堺第一ホテル	25人	外来化学療法センターの運営に関する連携強化
5	7月29日	2時間	地域連携パスについて	二次医療圏内医療機関	堺市産業振興センター	51人	胃がん診療連携パスについて
6	9月9日	1.5時間	がん診療地域連携パスについて	二次医療圏内医療機関	市立堺病院講堂	60人	胃がん・乳がん・大腸がんについて・がんパス運用の実際
7							
8							
9							
10							
11							

5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、
手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師による
セカンドオピニオンを提示する体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名

#REF!

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	はい
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	いいえ
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	いいえ
5	上記の内容を掲載しているページのURL	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/soudan/2ndopinion.html#n3

5大がん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例)肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	あり	外科 呼吸器内科 放射線治療科	1 2 1	肺がん手術 肺がん 肺がん放射線治療
胃がん	対応可	あり	外科 放射線治療科 消化器内科	1 1 1	胃がん手術、化学療法 胃がん放射線治療 胃がん内視鏡的治療
大腸がん	対応可	あり	外科 放射線治療科 消化器内科	2 1 1	大腸がん手術、化学療法 大腸がん放射線治療 大腸がん内視鏡的治療

肝がん	対応可	あり	外科 放射線治療科 消化器内科	1 1 1	肝がん手術、化学療法 肝がん放射線治療 肝がん非手術治療
乳がん	対応可	あり	外科 放射線治療科	1 1	乳がん 乳がん放射線治療

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
脳腫瘍	対応可	なし	脳神経外科 放射線治療科	1 1	脳腫瘍 脳腫瘍放射線治療
脊髄腫瘍	対応可	なし	脳神経外科 放射線治療科	1 1	脊髄腫瘍 脊髄腫瘍放射線治療
眼、眼窩腫瘍	対応不可	なし			
頭頸部がん	対応可	なし	耳鼻咽喉科 放射線治療科	1 1	頭頸部がん 頭頸部がん放射線治療
甲状腺がん	対応可	なし	耳鼻咽喉科 外科 放射線治療科	1 1 1	甲状腺がん 甲状腺がん 甲状腺がん放射線治療
食道がん	対応可	あり	外科 消化器内科 放射線治療科	1 1 1	食道がん手術、化学療法 食道がん内視鏡的治療、化学療法 食道がん放射線治療
縦隔腫瘍	対応可	なし	外科 放射線治療科	1 1	縦隔腫瘍手術 縦隔腫瘍放射線治療
中皮腫	対応可	なし	外科 呼吸器内科 放射線治療科	1 2 1	中皮腫手術 中皮腫化学療法 中皮腫放射線治療

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
膵がん	対応可	あり	外科 消化器内科 放射線治療科	1 1 1	膵がん手術、化学療法 膵がん 膵がん放射線治療
胆道がん	対応可	あり	外科 消化器内科 放射線治療科	1 1 1	胆道がん手術、化学療法 胆道がん 胆道がん放射線治療
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	外科 消化器内科 放射線治療科	1 1 1	十二指腸・小腸がん手術、化学療法 十二指腸・小腸がん 十二指腸・小腸がん放射線治療
腎がん	対応可	あり	泌尿器科 放射線治療科	2 1	腎がん 腎がん放射線治療
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科 放射線治療科	2 1	膀胱がん 膀胱がん放射線治療
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科 放射線治療科	2 1	尿路がん 尿路がん放射線治療
副腎腫瘍	対応可	なし	泌尿器科 外科 放射線治療科	2 1 1	副腎腫瘍 副腎腫瘍 副腎腫瘍放射線治療
前立腺がん	対応可	なし	泌尿器科 放射線治療科	2 1	前立腺がん 前立腺がん放射線治療
精巣がん	対応可	なし	泌尿器科 放射線治療科	2 1	精巣がん 精巣がん放射線治療
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科 放射線治療科	2 1	男性生殖器がん 男性生殖器がん放射線治療

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
子宮がん	対応可	あり	産婦人科 放射線治療科	1 1	子宮がん 子宮がん放射線治療
卵巣がん	対応可	なし	産婦人科 放射線治療科	1 1	卵巣がん 卵巣がん放射線治療
その他の女性生殖器がん	対応可	なし	産婦人科 放射線治療科	1 1	女性生殖器がん 女性生殖器がん放射線治療
皮膚腫瘍	対応可	なし	皮膚科 放射線治療科	1 1	皮膚腫瘍 皮膚腫瘍放射線治療
悪性骨軟部腫瘍	対応可	なし	放射線治療科	1	悪性骨軟部腫瘍 放射線治療
血液腫瘍	対応可	あり	血液内科 放射線治療科	2 1 1	血液腫瘍 血液腫瘍放射線治療
小児固形腫瘍	対応可	なし	小児科 放射線治療科	1 1	小児固形腫瘍 小児固形腫瘍放射線治療
小児血液腫瘍	対応可	あり	小児科 放射線治療科	1 1	小児血液腫瘍 小児血液腫瘍放射線治療
原発不明がん	対応可	なし	外科 放射線治療科	1 1	原発不明がん 原発不明がん放射線治療
性腺外胚細胞腫瘍	対応可	あり	泌尿器科 放射線治療科	1 1	性腺外胚細胞腫瘍 性腺外胚細胞腫瘍 補放射線治療
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	対応可	なし	外科 消化器内科 放射線治療科	1 1 1	GIST手術、化学療法 GIST GIST放射線治療

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
口腔がん・上顎がん・下顎がん	対応可	なし	耳鼻咽喉科 口腔外科 放射線治療科	1 1 1	口腔がん・上顎がん・下顎がん 口腔がん・上顎がん・下顎がん 口腔がん・上顎がん・下顎がん放射線
咽頭・喉頭がん	対応可	なし	耳鼻咽喉科 放射線治療科	1 1	咽頭・喉頭がん 咽頭・喉頭がん放射線治療
疾患名：					

各治療	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
化学療法	対応可	あり	外科 呼吸器内科 血液内科 小児科	4 2 1 1	乳がん、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆道がん、膵がん 肺がん 血液腫瘍 小児血液・固形腫瘍
放射線療法	対応可	あり	放射線治療科	1	放射線治療
緩和ケア	対応可	あり	外科	1	身体症状

セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 平成22年9月1日現在

病院名

#REF!

実施方法	その他	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合	一般外来で対応(最終予約枠で対応)	
セカンドオピニンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	地域医療室	
電話番号	072-221-1700(内線3331)	
FAX番号	072-225-3300	
e-mail	なし	
対応時間	9:00~17:30	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	その他	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合	受付不可であるが、別途がん相談で対応	
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	30分まで 13,000円	
超過料金	設定なし	
その他の料金 (詳細と金額)	設定なし	
相談時間の制限	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		30分

がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名	市立堺病院
件数	2

	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
(例)	乳がん勉強会	年1回 10月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例)	患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1	スピリチュアルケア	月～金曜日(午後)	カンファレンス室	癌患者・家族・スタッフ	相談員による悩み、苦しみの聞き取り、援助	なし
2	ぶらんこの会	3-4カ月毎開催(不定期)	講堂	癌患者・家族	お互いの意見交感	あり
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

平成21年11月～22年8月の間に実施されたもの

病院名

#REF!

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	開催場所	種類	参加/ 協力人数(人)	内容
(例)	参加済	4月5日	2日間	〇〇病院実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義+ワークショップ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したものの
(例)	協力済	8月3日	2日間	大阪〇〇緩和ケア研修会	〇〇病院	講義+ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したものの〇〇の講義に自院の医師が講師として協力
1	協力済	4月5日	2日間	大阪医療センター緩和ケア研修会	大阪医療センター	講義+ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したものの消化器症状の講義に自院の医師が講師として協力
2	協力済	5月9日	2日間	大阪赤十字病院緩和ケア研修会	大阪赤十字病院	講義+ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したものの消化器症状の講義に自院の医師が講師として協力
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

**国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした
がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況**

平成22年4月～22年8月の間に実施されたもの

病院名

#REF!

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	協力済	4月12日	2時間	××病院 胃X線読影 研修会	二次医療圏内医 師	XX病院 会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がん胃X線画像読影の ポイントに関する研修へ講師として派遣
(例)	参加済	8月11日	1時間	〇〇セミナー	二次医療圏内医 師・看護師	〇〇病 院	講義	4	〇〇についてのセミナーを受講
1	参加済	5月19日	2時間	成人病センター	医師	ホテルグ ランビア	講義	1	消化器早期がんの診断と治療
2	参加済	7月8日	2時間	大阪府パス連携部会	二次医療圏内医 師・看護師	KKRホテ ル	講義	4	大阪府がん統一パスについて
3	参加済	7月9日	2時間	成人病センター	医師	中之島	講義	1	消化器早期がんの診断と治療
4	参加済	9月8日	2時間	成人病センター	医師	中之島	講義	1	消化器がんの診断と治療
5	参加済	10月6日	2時間	成人病センター	医師	ホテルグ ランビア	講義	1	早期がんの診断と治療
6									
7									
8									
9									
10									

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

**国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の
医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況**

平成22年4月～23年1月の間に実施されたもの

病院名

#REF!

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数 (人)	内容
(例)	4月20日	2時間	〇〇病院実施 ××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	9月1日	2時間	第1回がん診療情報の提供のあり方検討部会	医師・医療従事者	成人病センター	2	国指定及び府指定のがん拠点病院の現況等がん診療情報の提供手法の検討
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

相談支援窓口の相談対応状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 #REF!

相談支援窓口の名称	医療相談 看護相談	
相談支援窓口の電話番号		
問い合わせ先電話番号	072-221-1700(内線3121)	
電話相談の電話番号	072-225-3772	上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口	医療相談室	例: 医療連携室
相談支援窓口の対応曜日と対応時間		
対応曜日と対応時間	月～金 9:00～17:00	
対面相談の対応曜日と対応時間	月～金 9:00～17:00	上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の対応曜日と対応時間	月～金 9:00～17:00	上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	不要	(必要、不要)
時間制限の有無	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30	
電話相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	不要	(必要、不要)
時間制限の有無	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30	
FAX相談の実施	未実施	(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号		
e-mail相談の実施	未実施	(実施、未実施)
email相談のためのe-mail		
相談員の職種	看護師、社会福祉士、精神保健福祉士	
ピアサポート提供の有無	なし	(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください		※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
相談者が利用できる資料	インターネット、リーフレット	例: 図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数(冊)	10	※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	可	(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	あり	(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数	4	

相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との 連携協力体制構築の取り組みの状況

病院名

	がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口 職員の関与の 有無
	(例)XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1	ブランコの会	3～4ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
2			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 平成22年9月1日現在

病院名 #REF!

1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	地域医療室
	電話	072-221-1700 (内線3331)
	FAX	072-225-3300
	電子メール	なし
	受付時間	9:00～17:30
	ホームページのURL	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp
2) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	地域医療室
	電話	072-225-3586 (直通)
	FAX	072-225-3300
	電子メール	なし
	受付時間	9:00～19:30
	ホームページのURL	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp

2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
2) 自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	医療相談
	電話	072-225-3772
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	9時～17時
	ホームページのURL	
3) 自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	医療相談
	電話	072-225-3772
	FAX	対応なし
	電子メール	対応なし
	受付時間	9時～17時
	ホームページのURL	

3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2)自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3)自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	治験事務局
	電話	072-221-1700
	FAX	072-225-3305
	電子メール	chikenkanri@sakai-hospital.jp
	受付時間	9:00~17:00
	ホームページのURL	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/yakuzai_chiken.html
2)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	治験事務局
	電話	072-221-1700
	FAX	072-225-3305
	電子メール	chikenkanri@sakai-hospital.jp
	受付時間	9:00~17:00
	ホームページのURL	http://www.municipal-hospital-sakai-osaka.jp/bumon_c/yakuzai_chiken.html

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		はい
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	看護相談
	電話	072-225-3772
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	9時～17時
	ホームページのURL	
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	看護相談
	電話	072-225-3772
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	9時～17時
	ホームページのURL	

2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		いいえ
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3.その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してくださ
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してくださ
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

3)		※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		の問い合わせ窓口 い
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4)		※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		の問い合わせ窓口 い
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版修正版

2006年度版修正版項目

- ◆ : 必須項目
● : 標準項目

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

大項目	項目番号	項目名	必須/標準の別	登録している項目	
基本情報	10	患者ID番号	◆ ●	○	
	20	重複番号	●	○	
	40	氏名	◆ ●	○	
	50	性別	◆ ●	○	
	60	生年月日	◆ ●	○	
	診断情報	90	診断時都道府県コード	●	○
100		診断時住所(詳細)	●	○	
101		診断時住所(市区町村)	◆	○	
110		当該腫瘍初診日	●	○	
130		診断日1(他施設診断日)	●	○	
140		診断日2(自施設診断日)	●	○	
141		診断日	◆	○	
150		来院経路	●	○	
152		発見経緯	●	○	
153		来院・発見の経緯	◆	○	
160		診断区分(診断結果)	●	○	
161		診断施設	●	○	
170		治療方針	●	○	
180		症例区分	●	○	
182	診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別	◆	○		
腫瘍情報	200	診断名コード	◆ ●	○	
	210	診断名テキスト	◆ ●	○	
	220	部位の側性	●	○	
	230	治療前	ステージ(治療前・UICC)	●(5部位)	○
	231		治療前のステージ(主要5部位)	◆(5部位)	○
	232		ステージ(治療前・取扱い規約)	●(肝がん)	○
	240		TNM分類(UICC)T分類		○
	250	TNM分類(UICC)N分類	●(5部位)	○	
	260	TNM分類(UICC)M分類		○	
	270	術後病理学的	ステージ(術後病理学的・UICC)	●(5部位)	○
	280		pTNM分類(UICC)pT分類		○
290	pTNM分類(UICC)pN分類		●(5部位)	○	
300	pTNM分類(UICC)pM分類			○	
腫瘍情報	310	進展度(治療前)	●	○	
	320	進展度(術後病理学的)	●	○	
	330	組織診断名コード	◆ ●	○	
	340	組織診断名テキスト	◆ ●	○	
	350	診断根拠	●	○	
	351	病理組織標本由来	●	○	
	352	診断に寄与した検査	◆	○	
	460	外科的	外科的治療の有無	◆ ●	○
	480	・内視鏡的	体腔鏡的治療の有無	◆ ●	○
	500	・体腔鏡的	内視鏡的治療の有無	◆ ●	○
	520	治療	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	●	○
	530	入院日(初回治療)	●	○	
	550	その他の治療	放射線治療	◆ ●	○
	560		化学療法	◆ ●	○
	570		免疫療法・BRM	●	○
	580		内分泌療法	●	○
	590		TAE	●	○
	600		PEIT	●	○
	610		温熱療法	●	○
620	レーザー等治療(焼灼)		●	○	
629	その他の治療		●	○	
予後情報	640		生存最終確認日	◆ ●	○
	650	死亡日	◆ ●	○	
	660	予後調査結果	●	○	
	720	予後調査方法	●	○	
その他	860	登録日	●	○	
	861	最終更新日	◆	○	
	870	定義バージョン	●	○	

※ 項目の定義については、

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版 修正版」を参照すること

http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer_registration/registration01.html

府民へのメッセージ

#REF!

府民へのメッセージ(各項目200字以内)

大阪府がん診療拠点病院として

当院は、従来から、外科、腫瘍内科による「カンサーボード」によって患者さんを密に検討し、基本的な治療のみならず先進的な治療(臨床試験)を提供しています。さらに地域連携パスによって、地域の医療施設と連携して、がん患者さんを手厚くケアしています。その治療成績はホームページで公開しています。今後、がん診療連携拠点病院として、がんチーム医療等を通じ、大阪のがん死亡の減少に努めます。

がん診療に関する当院の特長

当院は平成21年に「大阪府がん診療拠点病院」に指定されました。5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)に前立腺がんを加えその全てを診療する病院として指定されたものです。質の高い専門的ながん診療や地域の医療機関と連携した医療の提供を実施すると共に、専門的ながん医療を行う医師・薬剤師・看護師などを対象とした研修の実施等を行い、がん医療の一層の充実に取り組んでおります。

相談支援窓口について

「がん相談」はがんのことや治療・今後の療養生活の心配や不安など、がん医療にかかわる疑問や問題の解決へのお手伝いをさせていただきます。また、お話をおうかがいし、認定看護師・薬剤師・栄養士などの専門スタッフを紹介させていただき、安心して療養生活を送られるように支援していきます。

緩和ケアの提供体制について

緩和ケアチームには医師や看護師(緩和ケア認定看護師2名、がん性疼痛認定看護師1名を含む)、薬剤師、医療相談員などさまざまな職種スタッフが揃っており、担当医や病棟看護師と連携して痛みのコントロールや在宅支援を行なっています。また腫瘍精神科の医師や緩和ケア認定看護師による診療(週1回)も連携して行い、精神的な苦痛を和らげるように努力しています。